



Wita You

国連障害者権利委員会による総括所見 (障害者権利条約対日審査)を読んで

京都府立洛南病院 名誉院長 精神科医
はりまいのちの電話相談員養成講座講師 山下 俊幸

事務局のご依頼を受け、初めて寄稿させていただきます。昨年は基礎講座の講師を3回させていただきました。私は1980年より、精神科医として、総合病院、大学病院、精神保健福祉センター、単科精神科病院等で勤務し、診療を続けながら精神に障害のある方の社会参加や権利擁護に微力ながら取り組んでまいりました。ここでは、本年9月の国連障害者権利委員会による日本政府の報告に関する総括所見について考えてみたいと思います。

障害者権利条約は2006年12月に国連総会において採択され、日本は2007年9月に署名し、2014年1月に批准しました。この条約は障害者の人権及び基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的として、障害者の権利の実現のための措置等について定めるもので、たいへん画期的なものと思います。

本年8月22-23日にスイスのジュネーブで、障害者権利条約について日本政府の取り組みが報告され、それに対して、9月9日に障害者権利委員会から政府へ総括所見(勧告)が出されました。総括には評価された点、たとえば「民間企業にも合理的配慮が義務付けられたこと」や「アクセシビリティ、情報やサービスなどの利用についての基準が整備されたこと」もありましたが、数多くの改善勧告が出されました。

そのいくつかをご紹介します。精神保健医療福祉に関するものとしては、精神科病院の強制入院について、障害に基づく「差別である」とし、自由を奪っている法令(精神保健福祉法)の廃止を求めました。国の調査によれば、令和3年6月30日現在、13万2千人を超える人が強制入院となっていま

【次ページに続く】

 はりまいのちの電話

相談電話 **079-222-4343**

毎日 14:00~翌日 1:00

 自殺予防いのちの電話

フリーダイヤル **0120-783-556**

毎日 16:00~21:00

毎月10日 8:00~翌日 8:00

【前ページから続く】

す。たいへん重たい課題ですが、真摯に取り組まなければならない課題だと思います。一朝一夕で解決できるものではなく、精神科病院の取り組みだけでできるものでもありません。地域のサポート体制を段階的に充実するなど社会全体で取り組まなければならない大きな課題と言えます。

この他にも、「障害児を含む障害者が施設を出て地域で暮らす権利の保障」「分離された特別支援教育の中止に向け、障害のある子もない子とともに学ぶインクルーシブ教育に関する国の行動計画」「障害者が福祉サービスから労働市場へ移行し、インクルーシブな労働環境の中で、同等の価値の仕事に対して同等の報酬を受けられるよう、その移行を加速させる努力」など多くの課題があります。

この勧告に法的拘束力はありませんが、政府はこれらの課題に対して、今後積極的に取り組むことが求められています。次回の審査は6年後ですが、それまでに勧告を踏まえた政策転換が必要です。一方、私たちも障害のある人が安心して暮らせる社会の実現に向けて考えていくことが大切です。「地域で暮らしたい」「共に学びたい」「共に働きたい」と言う思いが実現できる社会をめざすことを私たちが共有することだと思います。「障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会」は、「生きやすい社会」であり、「自死予防」にとっても重要な課題です。はりまいのちの電話の活動がその一助となることを期待しています。今後の国の動向に関心を払いつつ、社会全体で考えていくことが求められていると思います。



相談員を募集しています



あなたもこの活動に加わって、共に学びつつ

受話器を握る人になりませんか

「いのちの電話」 相談員とは

はりまいのちの電話は1988年に開局し、様々な悩みや心の危機に直面しながらも身近に相談できる相手もなく、孤独の中にいる人たちの相談を365日受け続けています。また阪神淡路大震災や東日本大震災の際には、フリーダイヤル・震災ダイヤルに参画し突然の喪失体験による抱えきれない悲しみを持つ人たちのところに寄り添ってきました。

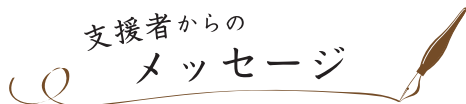
相談員の活動は無給ボランティアで電話相談だけでなく組織の運営にも関わっています。相談員は養成講座を受講し認定された後も定期的な研修を重ね良き聴き手としての感性を磨き続けています。

電話の向こうの人とつながる活動を通じて、あなたの足あとをはりまいのちの電話に残しませんか？

【申込み先】〒670-0012 姫路市本町68 社会福祉法人 はりまいのちの電話 事務局

TEL：079-288-5099 FAX：079-263-7210（月～土13:30～18:30 日・祝除く）

e-mail：jimukyoku@harima-inochi.jp



みんなが笑顔で生きていける社会をつくるために

高砂市 鷹尾 治久

私は数年前に初めて「はりまいのちの電話」とその広報誌「with you」を知りました。その時には「自殺を考えている人の声を聞くボランティアか、その様な活動をされている奇特な方がおられるんだ」とただ漠然と思っただけだったことを思い出します。

その後今般、縁あって「with you」への寄稿の機会を頂き、現在の自分に何ができるのか？ 考えた時、自殺、命、生きること、社会貢献等々様々な言葉が頭を巡り、その中で現在の自分は「どんな社会を望んでいるのか」を考えました。そしてその答えは「みんなが笑顔で穏やかに暮らせる社会であって欲しい」こんな当たり前の事でした。

しかし、考えてみればこの当たり前のことができず、悩み苦しみ自ら命を断つ人が現在の日本には毎年2万人以上もいます。今の日本は残念ながらそんな社会です。

そんな社会を背景に「いのちの電話」が存在し、有難い事に傾聴ボランティアの存在があり、寄付をしてくださる方がおられるのだと思います。

かといって自分にそれができるのか、正直今の自分には難しいと思っています（自らに言い訳を作っているのかもしれませんが）。でも何かをしたい。

さて、私自身の人生を振り返ると昭和39（1964）年、まさに日本の高度成長時代の真っ只中、東京オリンピック開催の年に生まれ、今日まで多くの人に支えられ58年間人生を歩んできました。そんな人生で実感しているのは、人は1人では生きていくことはできないし、笑顔で穏やかに暮らしていく為には、周囲との関係は非常に大切だと言う事です。

私が望んでいる社会になっていない現実、悩み苦しみ自ら命を断つ人がいる現実、そしてそこにある「いのちの電話」。今の私にできるのは、少しでも多くの人にこの「はりまいのちの電話」を知ってもらう様に努めること。そしてその向こうには、その存在を知った人が傾聴ボランティアには就かなくても周囲の人により穏やかに接する雰囲気をつくってくれるのではないかと期待があります。私は、1人の穏やかな雰囲気がその周囲を穏やかにし、組織や社会を穏やかにし、悩み苦しむ人の心の支えにもなるのではないかと考えています。

そんな思いで、これからは少しでも多くの人に「はりまいのちの電話」の存在を知ってもらう様に努めていこうと思います。

みんなが笑顔で生きていける社会をつくる為に、自分にできることを考え、少しだけでも行動を変え、何かで人と社会に貢献したいと思っています。

電話相談員受信状況

(2022年1月～2022年10月)

月別件数

(件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
通常電話	320	322	310	342	385	391	433	366	353	365	3,587
フリーダイヤル(毎月10日)	34	48	36	32	39	39	35	22	32	30	347
毎日フリーダイヤル ※1	111	90	100	80	89	72	88	103	84	105	922
合計	465	460	446	454	513	502	556	491	469	500	4,856

男女の内訳

	男	女
総件数	2,701	2,156

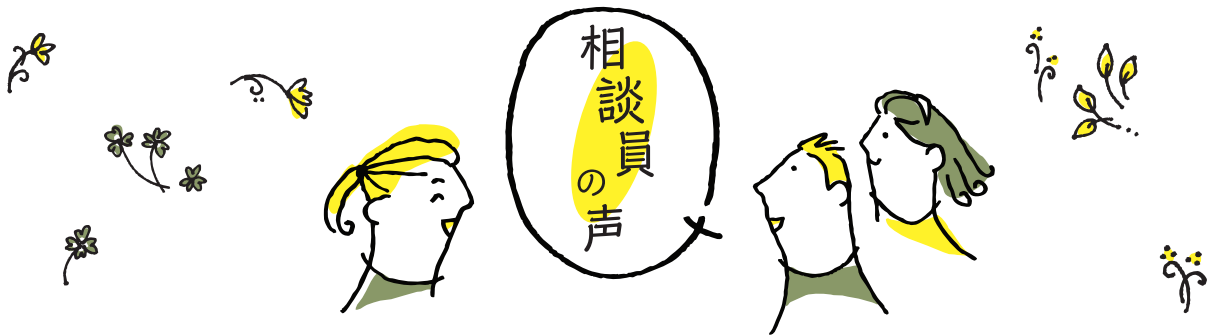
※1 毎日フリーダイヤル相談：いのちの電話では、コロナ禍が続く中、先の見えない感染不安・経済不安等で大変なストレスに追い詰められている方々の声に寄り添うフリーダイヤル相談を毎日16時から21時まで実施しています。

●着信ランプが灯り「はい、はりまいのちの電話です」と受話器を取ると、電話の向こうから様々な声が聞こえます。相談員の緊張の一瞬です。「死んで楽になりたい」という電話は沢山かかってきますが、「死にたい」とまではいなくても、恋の悩みや職場のいじめなど相談の内容は様々です。心の病を抱えて苦しんでおられる方々のご相談が多いので、時には私の知らない病気や趣味のことを話して下さることもあります。相談されたからといって、必ずしも適切な答えを用意する必要はありません。電話をくださった方の悩みをしっかりと受け止め（傾聴）一緒に悩み（共感）考えることで「聴いてもらえてよかった」「少し安心しました」という声に相談員も元気をもらい、今日も活動を続けています。

●誰かと繋がる時間がある。
あーよかったと声があると、
同じ言葉を返したくなる。
軽いものから、深いものまで、
全てが自分に必要な時間だと思える。



●視野が広がります。



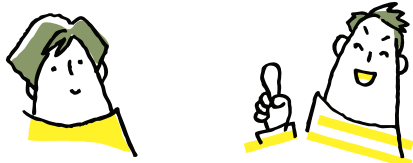
●令和3年度に基礎講座を受講し、現在は月2回仮認定相談員として電話相談に従事しています。当初は続けられるか心配していましたが、忙しい日々の中でも、月8時間の電話相談や月1回の研修会に休むことなく参加できています。電話相談に入っている時間は集中しているため、仕事や日常生活のストレスがいつの間にか吹き飛んでしまっているという思わぬ副産物が得られたことにも驚きました。また相談員の皆さんは個性豊かで面白く、事務局の方々はとても親切なので「はりまいのちの電話」は、私にとって居心地の良い場所です。

●秋の収穫祭バンザーイ！ 美味しい物いっぱい食べてきました。

- 窯で炊いたご飯は美味しく一個200円もする烏骨鶏の贅沢な卵かけご飯をいただきました。
- 網で焼いたサンマは身がふわふわ、エビ、イカ、ベーコンとどれも美味しく箸が止まりませんでした。
- 皆でワイワイ、ガヤガヤと干し柿づくりに夢中になり盛り上がりました。
- 仕込んであった焼き芋も食べごろ、皆でじゃんけんをしていただきました。

普段は皆さんと交流する機会があまりなく、相談員同士の横の繋がりを大切にしたいと思い参加しました。

先輩達とフランクな交流が出来、楽しく、穏やかな時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。





ご支援ありがとうございます

(2022年6月1日～2022年10月31日 敬称略 順不同)

下記の方々から温かいご支援をいただきました。深く感謝いたしますとともにご報告を申し上げます。
電話相談活動を継続させるため、これからもご支援ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

法人・団体

(株)姫路葬祭センター
(株)みどり不動産
井野病院
いるか心療所
梅津眼科
大島内科クリニック
尾上聖愛教会
(株)池田屋
(株)ベンハウス
菊井法律事務所
キンキサイン(株)

(株)きんでん姫路支店
厚生病院
合同会社ジャスティス
山陽色素(株)
JR西日本あんしん社会財団
多木クリニック
どいこどもクリニック
濱中製鎖工業(株)
姫路市保健所
姫路信用金庫
姫路生花卸売市場

姫路東ロータリークラブ
姫路不動産(株)
兵庫県いのち対策室
ひょうごボランティアプラザ
ぼうぜ医院
松田土木工業(株)
(有)ジャスティス
(有)東光印刷
和光製作所
和田産婦人科

個人

明石美奈子
足立 隆子
石原由佳子
井上 光一
今井 直昭
上原慎一郎
榎本 恵子
大方 洋子
大竹 妙子
大村 素子
岡田 兼明
岡田 裕子
岡本 杏子
沖 嘉子
尾崎 嘉則
小野 育子
小原 直人

梶原 久子
鎌谷 一磨
上角 琢治
神澤 正三
香山 雅代
河原田円三
北 彰人
北田 真希
木南 一志
清元 正昭
栗岡 輝明
河野恵美子
佐藤 晃三
澤田 恒
清水 一太
志水 秀明
下山 登久

須藤 俊二
勢川 早苗
空地 顕一
高倉 泰二
高島隆三郎
瀧川 泰久
竹縄 安子
田中 薫
谷 千里
玉光 順正
中井 晃
永瀬 隆子
中野 二郎
中畔 義博
中村 滋彦
西脇 淑子
納 正明

長谷川昌美
濱口 浩平
濱島 博哉
林 叔子
原 ひろみ
原 みゆき
久芳 節子
日野 和美
廣田 智子
福本 攻
福本 正明
藤井 博子
藤原 克彦
藤原 民子
古谷 大輔
穂積洋一郎
前田 真吾

前田千恵子
前田 正英
宮下 直人
宮本 茂
三輪 泰彦
村原圭伊子
森下早好女
森下 伸子
柳谷 郁子
山名みどり
吉井 政幸
米谷 啓和
和田 長平
渡辺 吉子
渡部 ヒサ
匿名 7名





島田妙子 いのちとこころの講演会

こどものいのちを守るために、
今あなたに伝えたいこと

入場無料

申込不要

2023年(令和5年)

1月29日(日)

講師 島田妙子
開場 13:30 開演 14:00~16:00
会場 アクリエひめじ 中ホール

※尚コロナの関係で入場制限することがあります。



事務局日誌

(6月~11月)

6月2日	第3回理事会	
6月20日	評議員会	
6月11日	40期前期養成講座	
6月25日	40期前期養成講座	
7月7日	第4回理事会	
7月9日	40期前期養成講座	
7月16日	40期前期養成講座	
7月23日	全体研修 講師 藤薮庸一氏	
7月23日	全国広報担当者研修会	
7月30日	40期前期養成講座	
8月4日	第5回理事会	
8月6日	40期前期養成講座	
8月20日	40期前期養成講座	
9月5日	第6回理事会	
9月17日	40期後期養成講座開校式	
10月1日	40期後期養成講座	
10月5日	近畿ブロック合同研修会	
10月15日	40期後期養成講座	
10月29日	40期後期養成講座	
10月30日	収穫祭	
11月6日	相談員募集説明会	
11月12日	40期後期養成講座	
11月19日	フリーダイヤル研修 講師 永原伸彦氏	
11月26日	40期後期養成講座	
※毎月10日	「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤル その他 運営委員会、相談員継続研修を月一回、研修委員会、統計委員会などの各種ボランティア委員会を 適時開催	

電話相談員募集説明会のお知らせ

2023年3月5日(日)

14:00~16:00(13:30受付開始)
姫路市民会館 第3会議室
(姫路市総社本町112)

- いのちの電話の紹介と電話相談員募集について
- ミニ講演「こころに寄り添う聴き方とは」研修委員
質疑応答…どなたでもお気軽にご参加ください。
- お問い合わせ・申し込みは 事務局まで

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン に登録しました

毎月11日にイオン大津店で買い物すると黄色のレシートをもらいます。その黄色いレシートを専用BOXの「はりまいのちの電話」に投函していただくと、レシート合計金額の1%にあたる品物が「はりまいのちの電話」に寄付されます。毎月11日にイオン大津へ買い物に行かれた際は是非ともご協力よろしくお願いたします。

編集後記

コロナの第8波が心配される師走となりましたが、こうした状況の中でも「はりまいのちの電話」は休むことなく活動を続けています。

これも、ひとえに多くの皆様に支えていただいているおかげと感謝申し上げます。

良い年をお迎えください。

(広報委員会)

